

「社会資本・公共施設の整備」について

長年、地域の皆さんにご不便をおかけしていた東川口駅周辺の浸水対策に取り組むことといたしました。基本計画を今年度中にまとめ、平成29年度から貯留施設の実施設設計及び地質調査を行なっております。

また国からは、良好な下水道サービスの持続的な提供を目指し、経営の健全化を図るべく、平成32年4月までに地方公営企業法の適用を要請されているところであり、ます。こうしたことから、平成31年4月を目途に地方公営企業法の全部を適用することとし、効率的な事業運営を図るため、水道局との組織統合を視野に入れた検討も併せて行なっております。

区画整理事業について

現在、市内10地区で施行中の区画整理事業は、同地区内に活用できる空地が減少したことにより、事業進捗に支障をきたしている状況にあります。このことから、芝東第4土地区画整理事業においては旧芝東小学校跡地の一部を活用し、新郷東部第2土地区画整理事業においては財務省保有地を購入して参ります。なお、安行藤八特定土地区画整理事業においては、懸案であった都市計画道路浦和東京線の本年中の開通により、周辺一帯の交通利便性の向上を図って参ります。

川口駅・西川口駅へのホームドア整備について

去る1月14日京浜東北線蕨駅において、本市にお住まいの視覚に障害のある方がホームから転落し、列車と接触して死亡するという大変痛ましい事故が発生いたしました。これまで、ホームにおける列車との接触や線路への転落事故を防止する対策の必要性を訴え、京浜東北線の市内各駅にホームドアが早期に整備されるようJR東日本及び国、県に求めて参りました。川口駅、西川口駅の整備については平成29年度から着手する計画であるとのことから、本市においても整備促進を図るべく、県と連携し、ホームドア整備事業に係る費用の一部を支援することとしたものです。



【ホームドア】

宇田川レポート更新中!!

市政情報 発信

活動情報を掲載！
ブログも随時更新！

川口市議会議員 宇田川好秀

川口市議会議員 宇田川好秀のページ
宇田川レポート

- ・歯科口腔保健の推進に関する条例（平成24年4月1日）
- ・歯科口腔保健の推進に関する条例の解説（平成24年4月1日）
- ・宇田川よしひで市議会ニュースvol.36（平成24年3月31日）

<http://gakkainavi.com/udagawa/report.html>

編集発行

川口市議会議員

宇田川 好秀

埼玉県川口市安行1117
TEL.048-294-3131 FAX.048-296-7070
印刷/コスモプリント株式会社

討議資料

宇田川よしひで

vol.62
2017年3月

市議会ニュース



「沢山の人の沢山の幸せを見たいから
今までもそしてこれからも頑張ります」

平成29年 第1回

3月市議会定例会

市政に関する報告

所信と報告から

平成29年2月24日

3月24日までの29日間

現在、中核市への移行をはじめ、川口市立高等学校の開校や火葬施設の開設など、本市にとって大きな節目の年となる平成30年度に向けて準備を進めております。

この準備こそが大変重要であると考えておりますことから、平成29年度は、一層気を引き締めて市政運営に取り組んで参る所存であります。

なかでも、中核市移行につきましては、平成26年の市長選挙において公約の一つに掲げ、市長就任後は目標期日を平成30年4月1日と定めて、移譲される約2200の事務に関する埼玉県との協議をはじめ、業務を円滑に執行するための組織の検討や人材の確保・育成等に、計画的に取り組んできたところであります。

市保健所につきましても、検査施設及び動物管理施設の整備を進めるとともに、獣医師、薬剤師等専門職の計画的採用や埼玉県及びさいたま市への職員派遣による人材育成など、万全の態勢で開設できるよう準備を進めて参りました。

このように、中核市の移行に向けて一定の準備が整いましたことから、今議会（平成29年3月議会）に中核市の指定に係る申出についての議案を提出させていただきます。

本市の中核市移行が、将来にわたり多くの皆さんから選ばれ、安全・安心なまちとして成長し続けるための確かな一歩と確信しております。

今後、新たに市に移譲される事務を、遅滞無く確実に執行すべく準備に万全を期するとともに、市民の皆さんへ地域の実情に応じた質の高いサービスを提供し、魅力と活気にあふれるまちとなるよう、全力で取り組んで参ります。

これらの基盤となる平成29年度予算は、税の収納率の向上や国の財政支援、市の基金の積極的な活用などにより歳入を確保しつつ、歳出面においては、「3大プロジェクト」をはじめ、「地域経済の強化・好循環の創出」「選ばれるまちの実現」「社会資本・公共施設の整備」に向けた事業などを実施することとし、その結果、過去最大規模となる1916億円の積極的な編成を行なったところであります。

市民の皆さんからお預かりした貴重な税金を、できる限り市内で循環させることが最も効果的な経済政策であり、市内産業の元気に、そしてまちの元気に結びつくものと考えております。



「平成29年度の 諸施策」について

3大プロジェクト（新庁舎・市立高等学校火葬施設歴史自然公園）についてですが、いずれのプロジェクトも順調な進捗状況であります。今後、遅滞なきよう鋭意取り組みで参ります。

「地域経済の強化・ 好循環の創出」について

昨年10月に開催いたしました「川口市産品フェア2016」は、初回を上回る多くの方にご来場いただくなど大盛況でありました。この結果を踏まえ、市内企業のさらなる販路拡大に向け、来年度も開催することといたしました。

市内中小企業の経営の維持、発展のためには、従業員の確保、育成及び定着率の向上が重要であることから、企業への人材採用に関するコンサ

ルトアント派遣や技能習得に対する支援など、従業員の雇用を促進する新たな事業を実施して参ります。

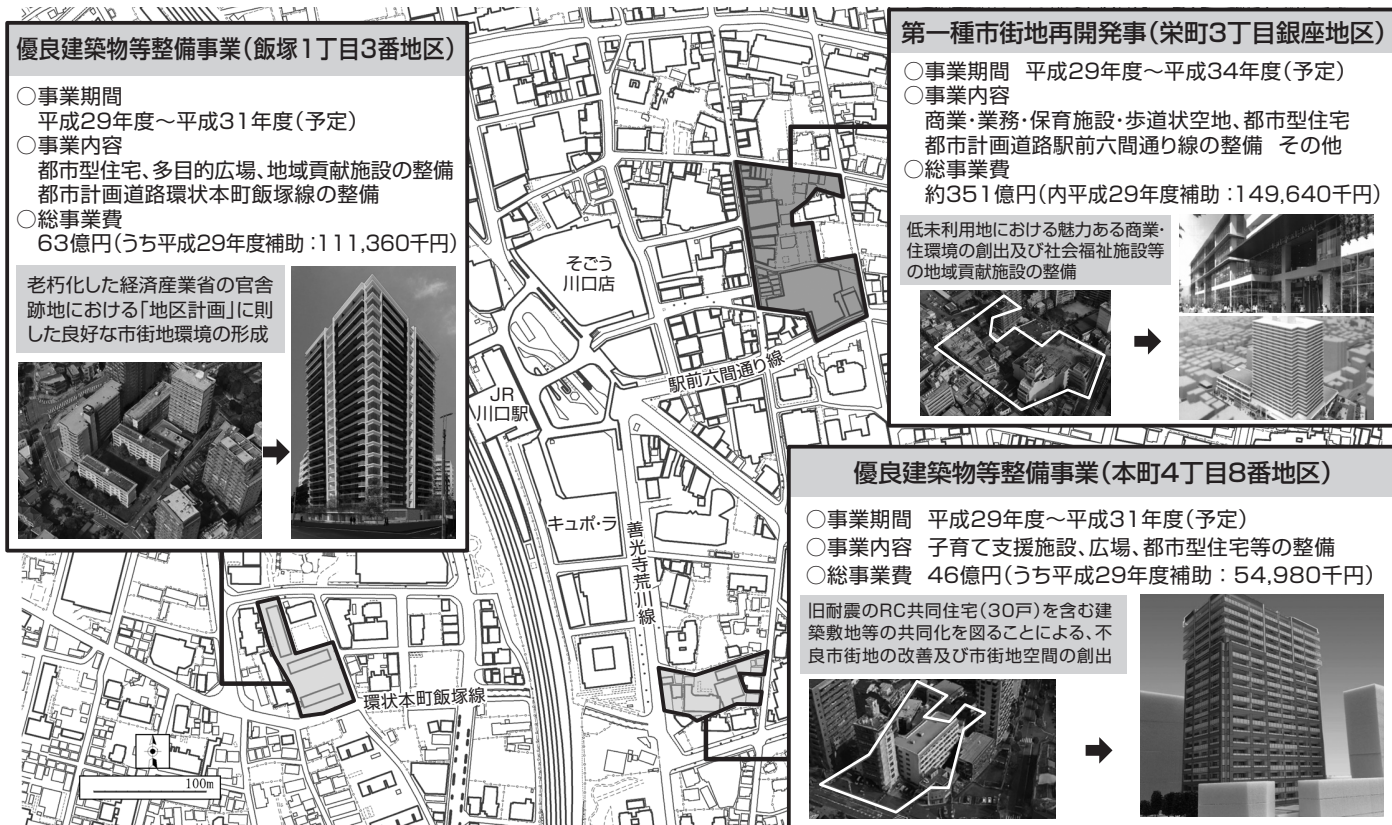
さらに、商業の活性化のためには、消費者に選ばれるような魅力ある店舗が必要であると考へ、「商店改修事業補助制度」を創設することといたしました。

このほか、市民の憩いの場であるグリーンセンターが、本年、開園50周年を迎えますことから、開園した月である11月に記念事業として、シャトー 赤柴において記念式典を開催するほか、市民の皆さんに楽しんでいただけるさまざまな事業を実施して参ります。

これらの取り組みに加え、さらなるまちの賑わいの創出が期待できる「川口栄町3丁目銀座地区」「川口飯塚1丁目3番地区」「川口本町4丁目8番地区」の3地区における市街地再開発事業等への支援を、国や県の補助も確保しつつ行なうて参ります。

JR川口駅周辺の市街地再開発事業（案）

- JR川口駅周辺における市街地再開発事業及び優良建築物等整備事業により、建築物、建築敷地及び公共施設の整備を行い、市街地における土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図る。
- 防災上重要な都市計画道路、駅前六間通り線及び環状本町飯塚線の拡幅整備を行うことにより防災性を向上する。



「選ばれるまちの実現」

本市では、喫緊の課題である待機児童の解消に積極的に取り組む、この度、認可保育所及び小規模保育事業所を20カ所整備し、受入枠を合計で1013人拡大することができました。また、保育人材の確保も重要であることから、「保育士宿舍借上支援事業」などにも取り組むこととした次第であります。

さらに、子どもの貧困の連鎖を断ち切るため、これまでの「子どもの生活・学習支援事業」を拡充して参ります。

次に、市民の関心が高い防災・防犯対策への取り組みであります。昨年、熊本地震や鳥取地震などいくつもの自然災害が起こったことから、自然災害に対する備えとして、最新の防災学習コンテンツ等を掲載した防災ハンドブックを作成し、広く市民に配布いたします。このほか、地域の

防犯体制の充実強化のため、引き続き、防犯カメラの設置及び防犯パトロール車両の配備を行なうて参ります。

【防犯パトロール車】



また、危機管理体制及び危機発生前から発生後における対策などを定めた危機管理指針を、本年1月に策定いたしました。

さらに、市民に信頼され、安全で質の高い医療を提供できるよう、医療センターの充実を図ります。

医療センターは地域の基幹病院であり、かかりつけ医では対応が困難な患者を積極的に受け入れている高度急性期機能を持つ病院であります。

しかしながら現状では、二次医療である軽症患者の外来診療が多く、二次、三次医療を担うという本来の役割を十分に果たしきれておりません。こうしたことから、医療センターが地域医療支援病院の承認を受け、一次医療はかかりつけ医が担い、かかりつけ医では対応困難な二次、三次医療の患者を積極的に受け入れる体を整備する必要があります。

そのため、地域医療支援病院の基準要件を満たすべく鋭意取り組んで参ります。

また、本年4月から新たに心臓外科を開設するとともに、産婦人科においても常勤医を増員するなど、高度な医療に対応できる診療体制の強化を図って参ります。

【医療センター】

